

さきちゃんだより



発行 2010.10 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

平成22年度事業 工事進捗状況



各工事の進捗状況について紹介します。

【本沢第二砂防堰堤】

既存砂防堰堤の機能を向上させ、流出土砂調節のために建設されている本沢第二砂防堰堤は、今年度予定の砂防堰堤本体左岸部の腹付けコンクリート打設が完了し、現在は右岸部を

施工するとともに今年度の完成を目指して副堰堤を施工中です。本年度工事の進捗率は70%です。

【濁沢第七砂防堰堤】

立谷沢川流域濁沢において建設中の濁沢第七砂防堰堤は、今年度予定していた右岸部の側壁工、水叩工の施工が完了し、現在は右岸側副堰堤のコンクリート打設及び護床工の施工、左岸側の落石対策工を実施中です。本年度工事の進捗率は80%です。

【濁沢第八砂防堰堤】

濁沢第八砂防堰堤は今年度から工事に着手し、既存堰堤の改築として、現在は左岸側の腹付けコンクリートを打設し副堰堤を施工するとともに、河床の洗掘を防止するため護床工を施工中です。本年度工事の進捗率は80%です。

【丑ノ沢砂防堰堤】

立谷沢川流域丑ノ沢において建設中の丑ノ沢砂防堰堤は、堰堤本体内の構造が従来のコンクリートではなく、土砂とセメントを混合して施工するINSEM(インセム)工法という方式が用いられています。現在は同工法において左岸側を施工中です。本年度工事の進捗率は60%です。



本沢第二堰堤



濁沢第七堰堤



濁沢第八堰堤



丑ノ沢堰堤

大型車両の通行にご注意ください



今年もあと少しで雪が降る季節になろうとしています。

工事現場では引き続き作業が行われており、土砂等を運搬する大型車両の通行も盛んになります。

周辺住民の皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、引き続きのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

庄内町土砂災害危険箇所巡視・点検を実施



去る7月30日(金)に庄内町の主催で、土砂災害危険箇所巡視・点検が行われました。巡視・点検には、山形県(庄内総合支庁)、山形県警、消防署(及び地元消防団)、庄内町、国土交通省から総勢16名が参加し、立谷沢川より西側の集落(片倉・肝煎・松の木地区)の土石流危険渓流・急傾斜地崩壊危険箇所を巡視・点検を行いました。

今回の巡視・点検では、砂防堰堤の土砂堆積状況や斜面等の状況を確認しましたが、幸いなことに各地区とも、災害に直結する問題箇所は見つかりませんでした。

自治体や国の機関で今回のような点検を定期的に実施してはおりますが、地域の皆さんも日頃から防災意識を高め、万が一の場合に備えていただけるようお願いいたします。

大雨による出水(9月)

9月には大雨による出水がありました。3回にわたり降雨による注意体制の発令があったものの、立谷沢川流域における施設等の異常は少なく、人的被害等も発生しませんでした。しかし、鮭川流域では農地の冠水が発生し、鶴岡市五十川地区では高さ200m—幅50m規模の土砂崩れが発生しました。 ※左右の写真は降雨後の本沢第二堰堤の様子



- 09/7 羽黒、玉川第6雨量観測所で80mmを超える雨量を観測。立谷沢川上流の管理用道路でごく小規模の土砂崩れが発生するも、通行に支障はなく、二次災害の発生もなかった。
- 09/12 肝煎雨量観測所ほか2箇所では80mmを超える雨量を観測。翌13日、新庄河川事務所管内で120mmを超える雨量を観測したため、警戒体制を発令するが、立谷沢川流域では施設等の異常は見られなかった。
- 09/23 羽黒雨量観測所で80mmを超える雨量を観測。施設点検の結果は良好、事故や災害も報告されていない。

国土交通省では、連続雨量が80mmを超えると、各施設の点検を行っております。一年を通してもっとも降雨の多い時季は過ぎましたが、昨今の異常気象等を鑑みれば、一概に安心であるとは言いきれない状況です。地域の皆様におかれましては、何か異常等を発見された場合は、速やかに当出張所までご連絡いただけるようお願い申し上げます。

立谷沢川砂防出張所一同

《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

～砂防資料館～

開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。
駐車場 小型バス3台駐車可

